



2008年1月21日

各 位

株式会社三菱ケミカルホールディングス
本店所在地 東京都港区芝四丁目14番1号
代表者名 代表取締役社長 小林 喜光
(コード番号 4188 東・大第1部)
三 菱 化 学 株 式 会 社
三 菱 樹 脂 株 式 会 社
三菱化学ポリエステルフィルム株式会社
三 菱 化 学 産 資 株 式 会 社
三 菱 化 学 エ ム ケ ー ブ イ 株 式 会 社

問合せ先 広報・IR室長 荒木 寛孝
(TEL 03-6414-4870)

機能材料分野の事業統合新社に係る合併契約等締結に関するお知らせ

株式会社三菱ケミカルホールディングス(以下「当社」、本社：東京都港区、社長：小林喜光)、三菱化学株式会社(以下「三菱化学」、本社：東京都港区、社長：小林喜光)、三菱樹脂株式会社(以下「三菱樹脂」、本社：東京都千代田区、社長：神尾章)、三菱化学ポリエステルフィルム株式会社(以下「三菱化学ポリエステルフィルム」、本社：東京都港区、社長：矢野彰每)、三菱化学産資株式会社(以下「三菱化学産資」、本社：東京都千代田区、社長：瀬川正身)及び三菱化学エムケーバイ株式会社(以下「三菱化学エムケーバイ」、本社：東京都港区、社長：近藤和利)は、昨年2月8日に発表いたしました機能材料分野の再編・統合に係る基本合意に基づき、本日開催されたそれぞれの取締役会の決議を経て、本年4月1日を合併・分割期日とする合併契約及び吸収分割契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 目的

今回の再編・統合は、持株会社である当社の統括の下で、機能材料分野を名実ともに当社グループの中核事業の1つとして位置付け、より発展させていこうとするものであります。

本年4月1日に発足する統合新社は、これまで三菱化学及び機能材料事業子会社4社がそれぞれ行っていた当社グループにおける機能材料分野の事業並びに経営資源の集約を図り、各社がこれまで独自に培ってきた事業ノウハウを相互に積極的に活用することでシナジーを最大化し、事業展開力・課題解決力をさらに強化することにより、当社の事業子会社として、お客様のニーズによりスピーディーかつ的確にお応えし、これまで以上に幅広い分野でお客様の良きパートナーとしての役割を担える企業となることを目指してまいります。

2. 再編・統合の方法について

本年4月1日をもって、三菱化学が保有する三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーバイのすべての発行済株式を当社に、更に三菱化学の機能材料本部機能材料企画室が所管する事業(但し、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産

資及び三菱化学エムケーブイの株式の保有を通じて行う事業を除く。)及び同本部機能資材事業部が所管する事業に関して三菱化学が有する権利義務を三菱樹脂に、それぞれ吸収分割の方法により移管したのち、同日をもって、三菱樹脂、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイが合併する方法を取ります。

3. 当社と三菱化学間の吸収分割について

(1) 概要

当社は、三菱化学の機能材料本部機能材料企画室が所管する事業のうち、三菱化学の完全子会社である三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイの株式の所有を通じて行う事業に係る権利義務を吸収分割により承継します。

(2) 会社分割の要旨

分割の日程

分割契約承認取締役会決議	2008年1月21日
分割契約締結	2008年1月21日
分割の効力発生日	2008年4月1日(予定)

なお、本分割は、会社法第796条第3項の規定に基づき、当社の株主総会の承認を得ずに行います。

分割方式

当社を承継会社とし、三菱化学を分割会社とする吸収分割方式です。

(3) 分割により増加する資本金の額等

本件吸収分割により、当社の資本金の額等は増加しません。

(4) 新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社は、2011年及び2013年満期ユーロ円建保証付取得条件付転換社債型新株予約権付社債を発行していますが、本分割による取扱いの変更はありません。

三菱化学は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

当社は、三菱化学の完全子会社である三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイの株式の権利義務を承継します。

(6) 債務履行の見込み

承継会社である当社及び分割会社である三菱化学は、吸収分割の効力発生日以降に到来する債務の履行の确实性に問題がないものと判断しております。

(7) 分割当事会社の概要

1. 商号	株式会社三菱ケミカルホールディングス (承継会社)	三菱化学株式会社 (分割会社)
2. 主な事業内容	グループ会社の経営管理	石油化学, 機能商品等の製造・販売
3. 設立年月日	2005年10月3日	1994年10月1日
4. 本店所在地	東京都港区芝4-14-1	東京都港区芝4-14-1
5. 代表者	小林 喜光	小林 喜光
6. 資本金	500億円(2007年3月末)	500億円(2007年3月末)
7. 発行済株式数	1,806,288,000株(2007年3月末)	2,177,675株(2007年3月末)
8. 純資産	7,588億円(連結; 2007年3月末)	6,010億円(連結; 2007年3月末)
9. 総資産	23,188億円(連結; 2007年3月末)	21,798億円(連結; 2007年3月末)
10. 決算期	3月	3月
11. 大株主及び持株比率	1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口 3.93% 2. 明治安田生命保険相互会社 3.35% 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口 3.13% 4. 武田薬品工業 2.86% 他 (2007年3月末現在)	当社 100%(2007年3月末現在)

(8) 承継する事業部門の概要

承継する資産の内容

三菱化学の完全子会社である三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイの株式

承継する資産及び負債の総額(予定)

単位：百万円

資産	帳簿価額
流動資産	-
固定資産	12,889
合計	12,889

(上記数値は2007年9月末の数値です。確定値は効力発生日の前日までの増減を加除して決定致します。)

(9) 承継後の当社の状況

商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金及び決算期、いずれも変更はありません。

4. 連結子会社間の吸収分割について

(1) 概要

三菱化学は、同社の機能材料本部機能材料企画室が所管する事業(三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイの株式の所有を通じて行う事業を除きます。)及び同本部機能資材事業部が所管する事業に係る権利義務を吸収分割により三菱樹脂に承継します。

(2) 会社分割の要旨

分割の日程

分割契約承認取締役会決議	2008年1月21日
分割契約締結	2008年1月21日
分割の効力発生日	2008年4月1日(予定)

なお、本分割は、会社法第784条第3項の規定に基づき、三菱化学の株主総会の承認を得ずに行います。

分割方式

三菱樹脂を承継会社とし、三菱化学を分割会社とする吸収分割方式です。

分割により増加する資本金の額等

本件吸収分割により、三菱樹脂の資本金の額等は増加しません。

新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

三菱樹脂及び三菱化学は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

承継会社が承継する権利義務

三菱樹脂は、三菱化学の機能材料本部機能材料企画室が所管する事業(三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイの株式の所有を通じて行う事業を除きます。)及び同本部機能資材事業部が所管する事業の権利義務を承継します。

債務履行の見込み

承継会社である三菱樹脂及び分割会社である三菱化学は、吸収分割の効力発生日以降に到来する債務の履行の確実性に問題がないものと判断しております。

(3) 分割当事会社の概要

1. 商号	三菱樹脂株式会社 (承継会社)	三菱化学株式会社 (分割会社)
2. 主な事業内容	合成樹脂製品の製造及び販売	石油化学、機能商品の製造・販売
3. 設立年月日	1943年1月15日	1994年10月1日
4. 本店所在地	東京都千代田区丸の内2-5-2	東京都港区芝4-14-1
5. 代表者	神尾 章	小林 喜光
6. 資本金	215億円(2007年3月末)	500億円(2007年3月末)
7. 発行済株式数	215,366,350株(2007年3月末)	2,177,675株(2007年3月末)
8. 純資産	641億円(連結;2007年3月末)	6,010億円(連結;2007年3月末)
9. 総資産	1,710億円(連結;2007年3月末)	21,798億円(連結;2007年3月末)
10. 決算期	3月	3月
11. 大株主及び持株比率	三菱化学 91.9%(2007年3月末)(注1)	当社 100%(2007年3月末)

(注1) 2007年10月1日付で、当社との間で株式交換を行ったことにより、当社の100%出資子会社となっております。

(4) 承継する事業部門の概要

承継する事業内容及び資産

三菱化学の機能材料本部機能材料企画室が所管する事業(三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイの株式の所有を通じて行う事業を除きます。)及び同本部機能資材事業部が所管する事業及び関係会社株式

承継する事業部門及び関係会社株式の経営成績（連結；2007年3月末）

単位：百万円

	承継事業部門	承継会社実績	比率
売上高	26,670	193,866	13.8%
税前利益	1,010	9,938	10.2%

承継する資産及び負債の総額(予定)

単位：百万円

資産	帳簿価額	負債	帳簿価額
流動資産	1,084	流動負債	5,170
固定資産	4,086	固定負債	-
合計	5,170	合計	5,170

（上記数値は2007年9月末の数値です。確定値は効力発生日の前日までの増減を加除して決定致します。）

（5）承継後の三菱樹脂の状況（本再編・統合終了後）

1. 商号	三菱樹脂株式会社
2. 主な事業内容	合成樹脂製品の製造及び販売
3. 本店所在地	東京都中央区日本橋本石町1-2-2
4. 代表者	吉田 宏
5. 資本金	215億円
6. 決算期	3月
7. 大株主及び持株比率	当社 100%

5. 連結子会社4社の合併について

（1）概要

三菱樹脂、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイは、対等の立場で合併いたします。

（2）合併の要旨

合併の日程

合併契約承認取締役会決議	2008年1月21日
合併契約締結	2008年1月21日
合併の効力発生日	2008年4月1日（予定）

合併方式

三菱樹脂を存続会社とし、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイを各々消滅会社とする吸収合併方式です。

新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

三菱樹脂、三菱化学ポリエステルフィルム、三菱化学産資及び三菱化学エムケーブイは、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

(3) 合併当事会社の概要

1. 商号	三菱樹脂株式会社	三菱化学ポリエステルフィルム株式会社
2. 主な事業内容	合成樹脂製品の製造及び販売	ポリエステルフィルムの製造・販売
3. 設立年月日	1943年1月15日	1975年5月8日
4. 本店所在地	東京都千代田区丸の内2-5-2	東京都港区芝4-2-3
5. 代表者	神尾 章	矢野 彰每
6. 資本金	215億円(2007年3月末)	30億円(2006年12月末)(注2)
7. 発行済株式数	215,366,350株(2007年3月末)	300,000株(2006年12月末)
8. 純資産	641億円(連結;2007年3月末)	143億円(連結;2006年12月末)
9. 総資産	1,710億円(連結;2007年3月末)	426億円(連結;2006年12月末)
10. 決算期	3月	12月
11. 大株主及び持株比率	三菱化学91.9%(2007年3月末)(注1)	三菱化学100%(2007年3月末)

(注1) 2007年10月1日付で、当社との間で株式交換を行ったことにより、当社の100%出資子会社となっております。

(注2) 2007年3月末現在、資本金の額は47億円となっております。

1. 商号	三菱化学産資株式会社	三菱化学エムケーブイ株式会社
2. 主な事業内容	各種産業資材の製造販売、設備の設計、製作、施工	樹脂加工製品の製造及び販売
3. 設立年月日	1976年9月21日	1983年9月22日
4. 本店所在地	東京都千代田区丸の内1-8-2	東京都港区芝4-1-23
5. 代表者	瀬川 正身	近藤 和利
6. 資本金	27.64億円(2007年3月末)	25.8億円(2007年3月末)
7. 発行済株式数	2,210,001株(2007年3月末)	60,000株(2007年3月末)
8. 純資産	110億円(個別;2007年3月末)	62億円(個別;2007年3月末)
9. 総資産	380億円(個別;2007年3月末)	191億円(個別;2007年3月末)
10. 決算期	3月	3月
11. 大株主及び持株比率	三菱化学100%(2007年3月末)	三菱化学100%(2007年3月末)

(4) 合併後の三菱樹脂の状況(本再編・統合後)

1. 商号	三菱樹脂株式会社
2. 主な事業内容	合成樹脂製品の製造及び販売
3. 本店所在地	東京都中央区日本橋本石町1-2-2
4. 代表者	吉田 宏
5. 資本金	215億円
6. 決算期	3月
7. 大株主及び持株比率	当社100%

6. 業績に与える影響

当期業績への影響はありません。来期の業績への影響は確定次第ご連絡いたします。

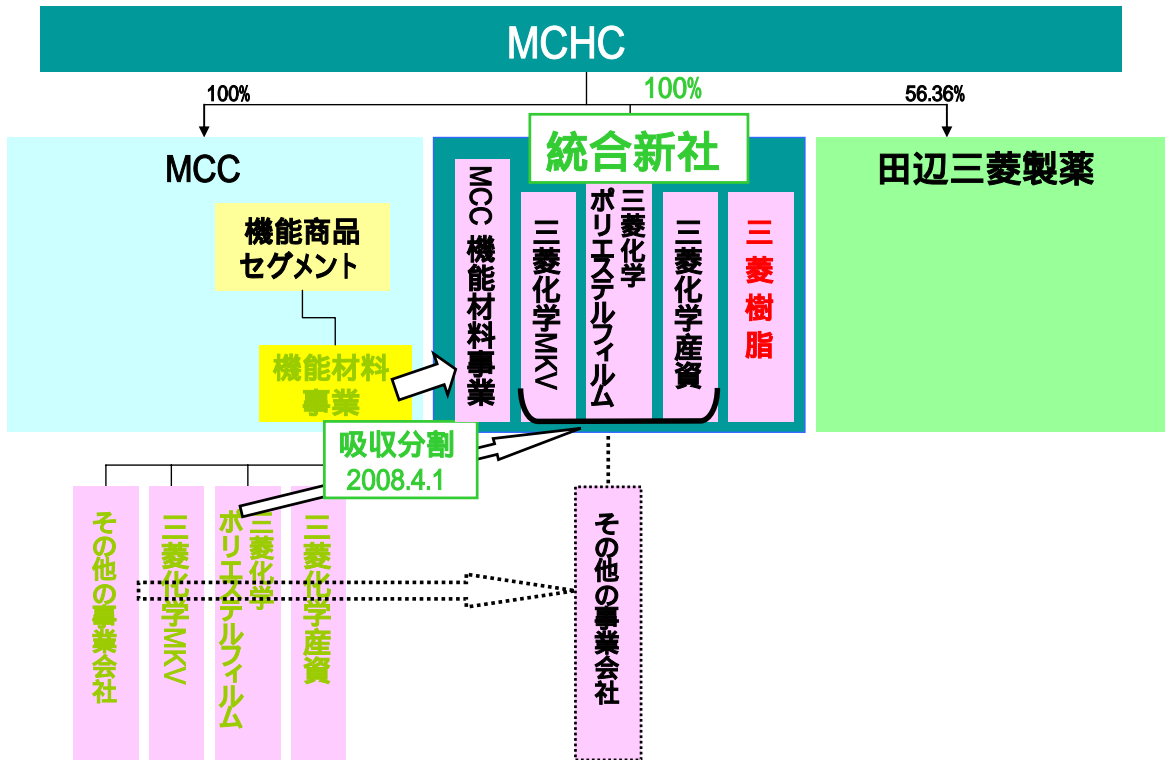
7. その他

上記再編・統合に伴い、三菱化学が現在保有している児玉化学工業(株) (東証第2部 本社：東京都台東区、社長：宇川 進)の普通株式 6,224,068 株(出資比率 20.6%)及び太洋興業(株) (JASDAQ 本社：東京都中央区、社長：中村 哲雄)の普通株式 510,000 株(出資比率 5.9%)については、本年4月1日をもって、三菱樹脂に移管されることとなります。また、現在、三菱化学エムケーブイも太洋興業(株)の普通株式を 510,000 株(出資比率 5.9%)保有しておりますので、統合後の三菱樹脂は、太洋興業(株)の普通株式を 1,020,000 株(出資比率 11.8%)保有することとなります。

以 上

参考資料

機能材料統合新社 (2008.4.1)



注) MCHC = 三菱ケミカルホールディングス
MCC = 三菱化学